

「田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト・キックオフ集会 講演資料
(2013.02.09、小山市立生涯学習センター)」

田んぼの生物多様性と生きもの調査

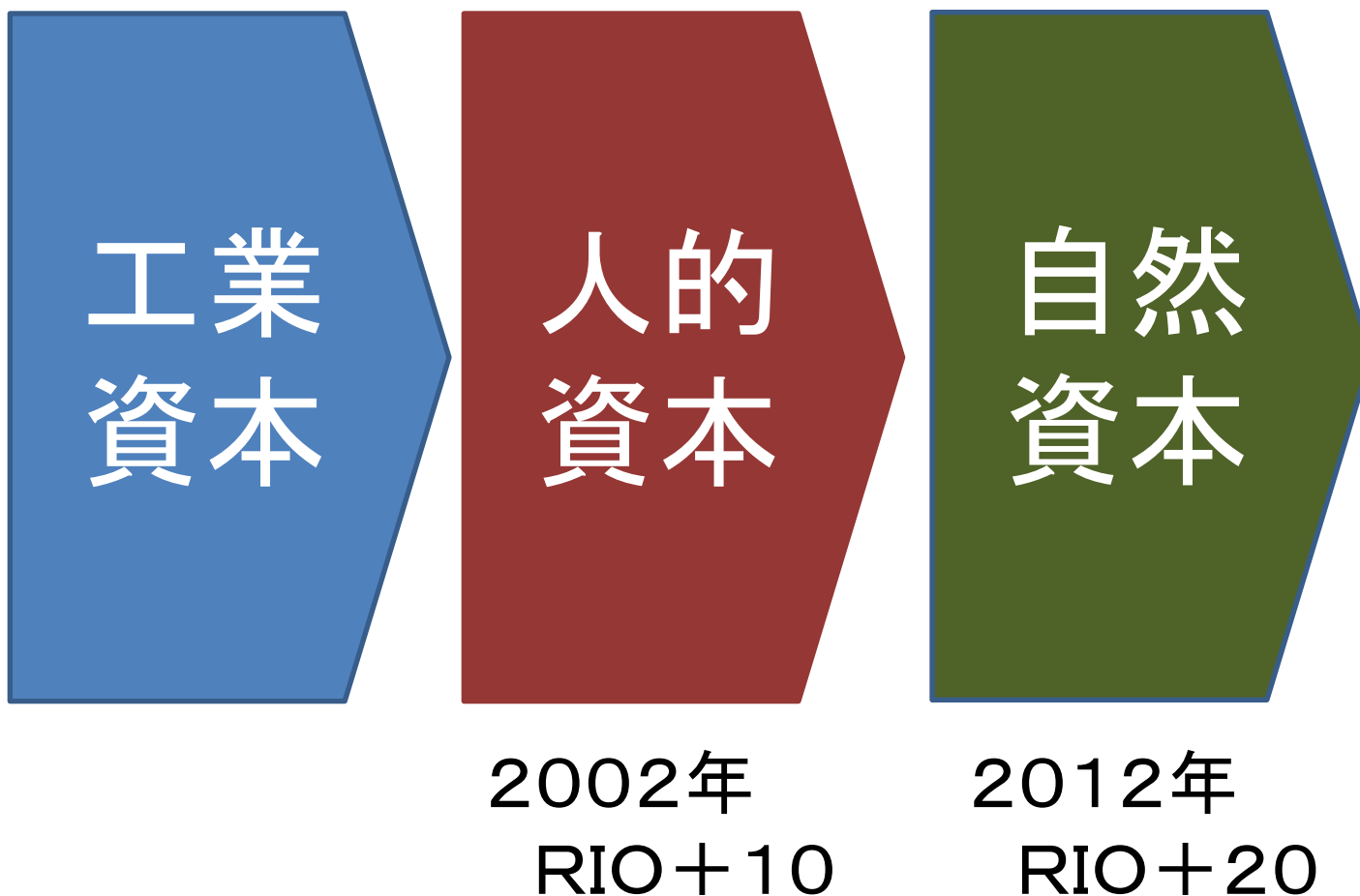
田んぼの生物多様性向上10年プロジェクトキックオフ集会



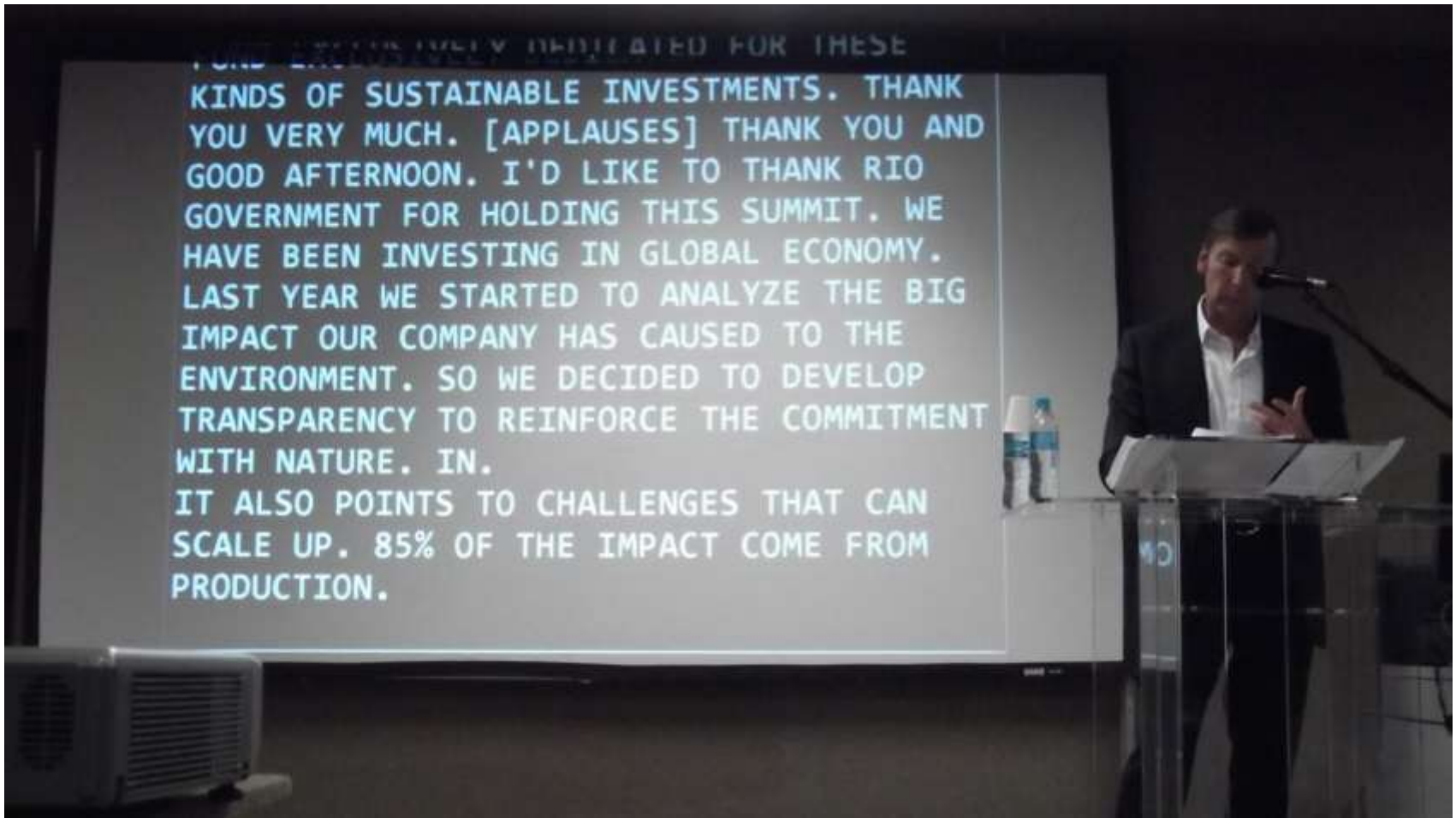
NPO法人田んぼ
理事長 岩渕成紀

本当の富を考え、正しく行動する

- 90年代に、経済学の枠組み拡張が進む。



Rio+20 サイドイベント: 自然資本宣言





Tambo

The flora of "tambo" that means Irrigated Rice Paddies, includes 2,000 species. These provide many animals an important member of rice paddy ecosystem with their habitats and foods. Not only harmful insects but also a lot of useful plants for foods, medicines and crafts materials are living in rice paddies. In addition, a lot of threatened plant species use the rice paddies as refuge. We should recognize those knowledge again, and are required a creative utilization with rice paddies flora.

2015

田んぼの生きもの調査の歴史と今後の方向

1992年—

調査方法の試行

→里山全体の調査
→水生生物の調査方法の試行

2002年—

調査方法の細分化

→水質・土壌調査
→コドラート調査
→土掘り君による調査
→魚道調査
→畦・田面の植物調査
→雑草調査
→地形・地勢調査
→営農のための生き物調査

2012年—

シンプルでも個体数が推定できる調査へ

- ① 簡易な市民調査で個体数も推定できる調査
- ② 生物多様性を向上させる活動評価
- ③ 営農のための生き物調査

継続調査

生態系の中で生きる

→いきもの語り
→画や書に表現

水があるから命がある





中国雲南省、ハニ族の棚田は広大なふゆみずたんぼになっている(2005年1月18日撮影)

収穫期を迎えたヒマラヤの田んぼ

アンナプルナと3000mを超える場所での

『ふゆみずたんぼ』



ひとと鳥たちが信じ合えば、こんな世界が現実となる



ひとがやすめば、
鳥もやすむ。







生きものが土を創る





氷の中でも生きて
いるイトミミズ



Typical Satoyama in Tohoku (Bird's-eye view from KAGOBO)



すべての生きものが豊かに暮らすことのできる SATOYAMA





Devastated Rice Paddies



南三陸町志津川小森熊田の津波直後の水田の様子(2011年5月15日撮影)



田んぼの土壌構造を壊さないように慎重な手作業による瓦礫の片付けを行う(2011年5月)

気仙沼本吉町大谷のふゆみずたんぼによる脱抑成功例



2010年5月



2010年10月



2011年4月28日（復元前）



2011年8月25日（復元後）



GARDENWATCHCAM V.1.0 2012/06/20 09:35:47



普段田んぼに触れていない学生たちも
田んぼの生きものの復元のための調査結果に驚きの様子が見られた



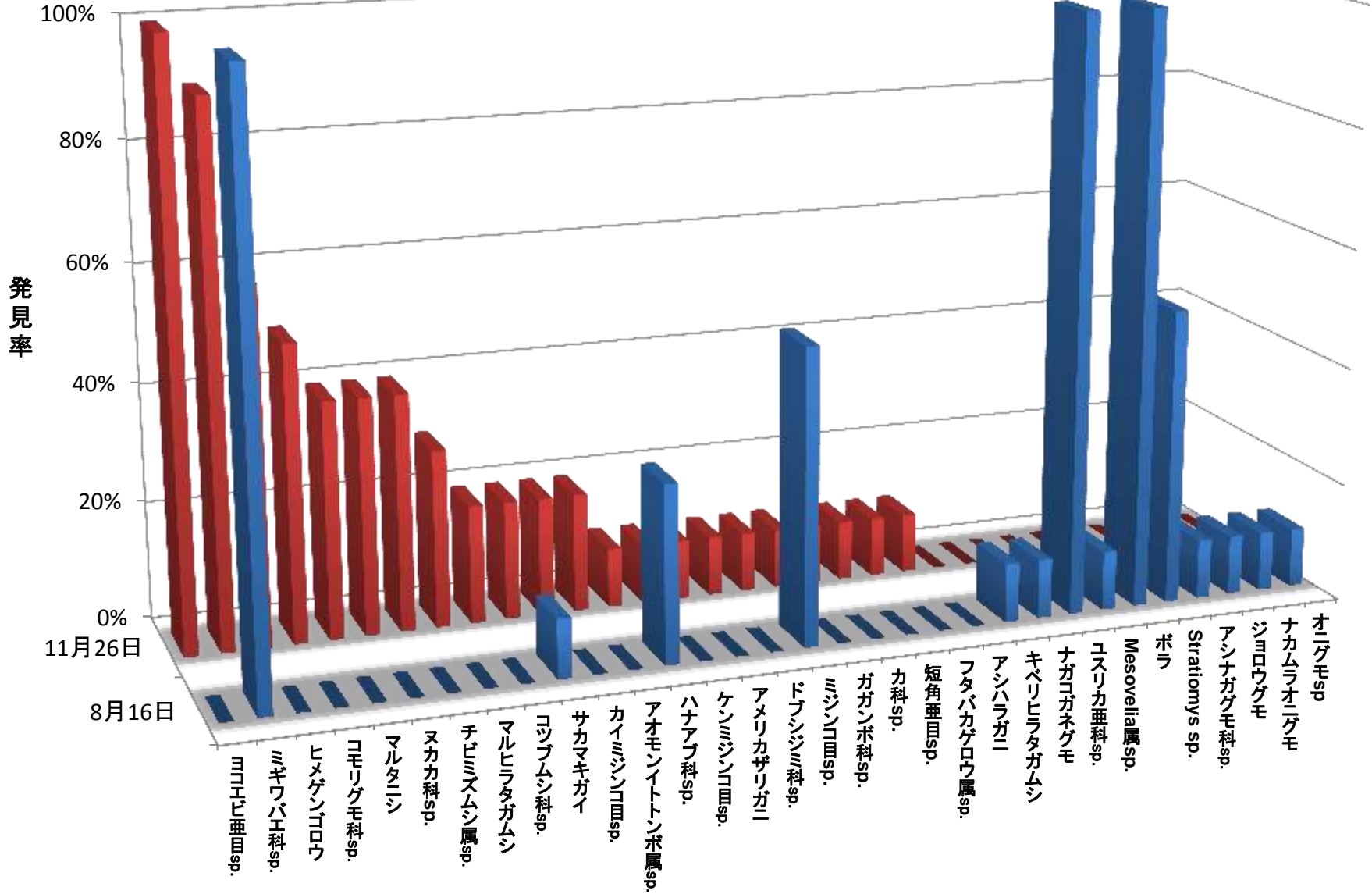


Citizen-Involved Ecosystem Monitoring

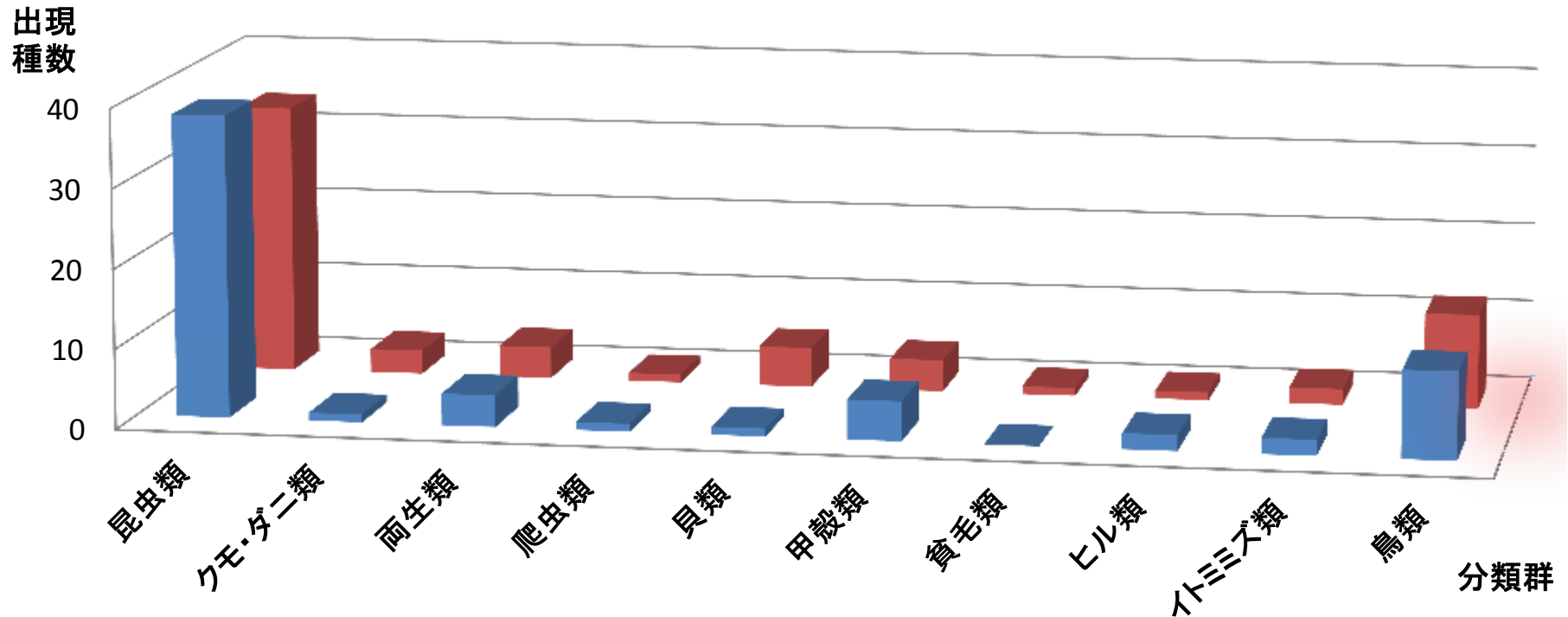


津波被災水田の市民ボランティアによる水生生物の調査結果

元屋敷浜

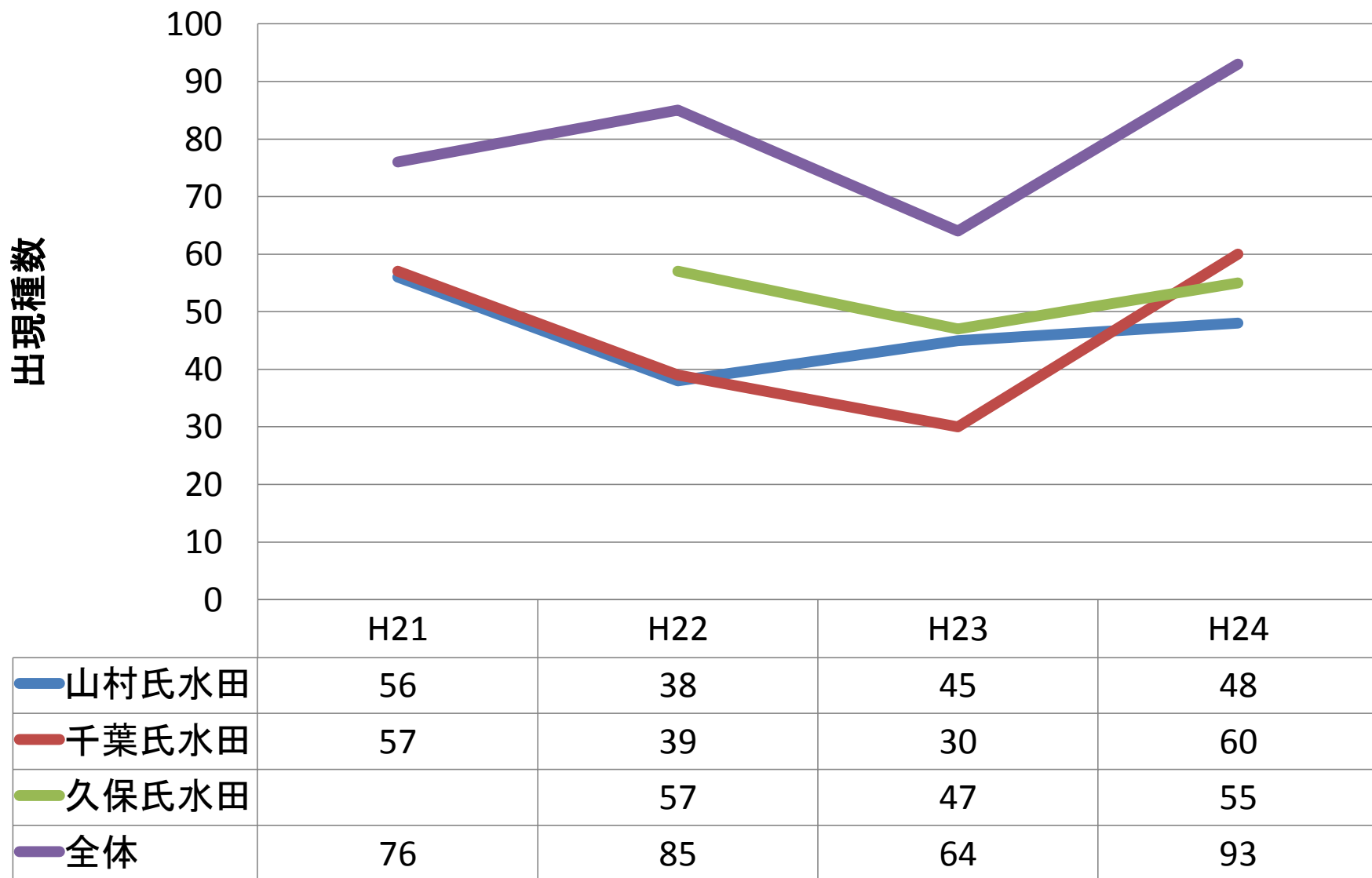


3. 11直後に水を入れた気仙沼大谷に於ける『ふゆみずたんぼ』の4月~6月までの動物相の生息種数の2年間の変化(2011年~2012年)



	昆虫類	クモ・ダニ類	両生類	爬虫類	貝類	甲殻類	貧毛類	ヒル類	イトミズ類	鳥類
■ 2011 04--06	38	1	4	1	1	5	0	2	2	11
■ 2012 04--06	34	3	4	1	5	4	1	1	2	12

田尻地域の田んぼの生きもの調査による出現種の4年間の推移



寒風沢島に穂仁王（ほんによ）が復活した。



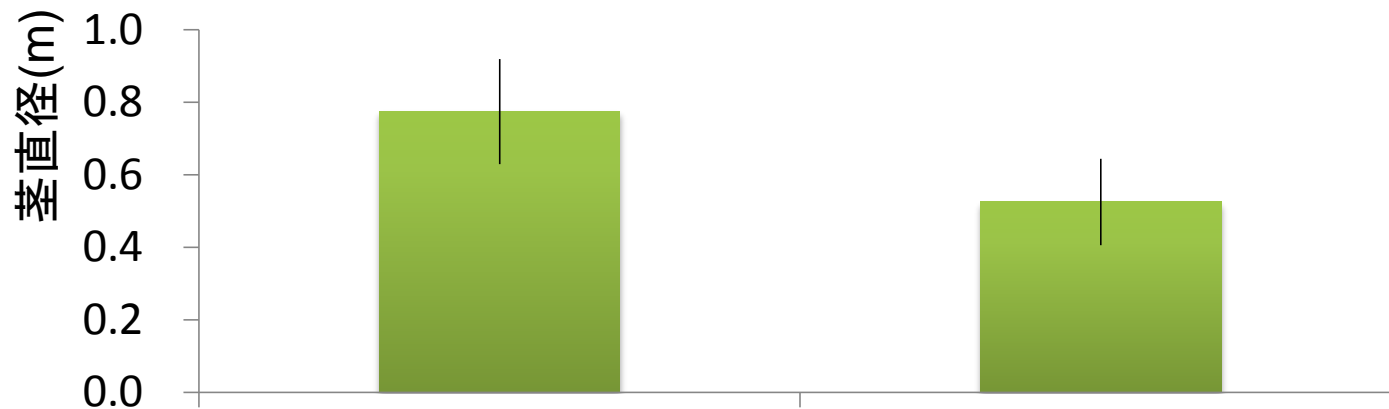
収穫した稲の茎の太さの違い：

無施肥・無農薬ふゆみずたんぼと化学肥料・殺菌剤使用特別栽培



寒風沢島に於ける農法別茎直径の違い

無施肥・無農薬ふゆみずたんぼと減化学肥料・殺菌剤使用



前浜 (無施肥・無農薬)

桃和田 (化成肥料・殺菌剤使用)

尤度比検定:

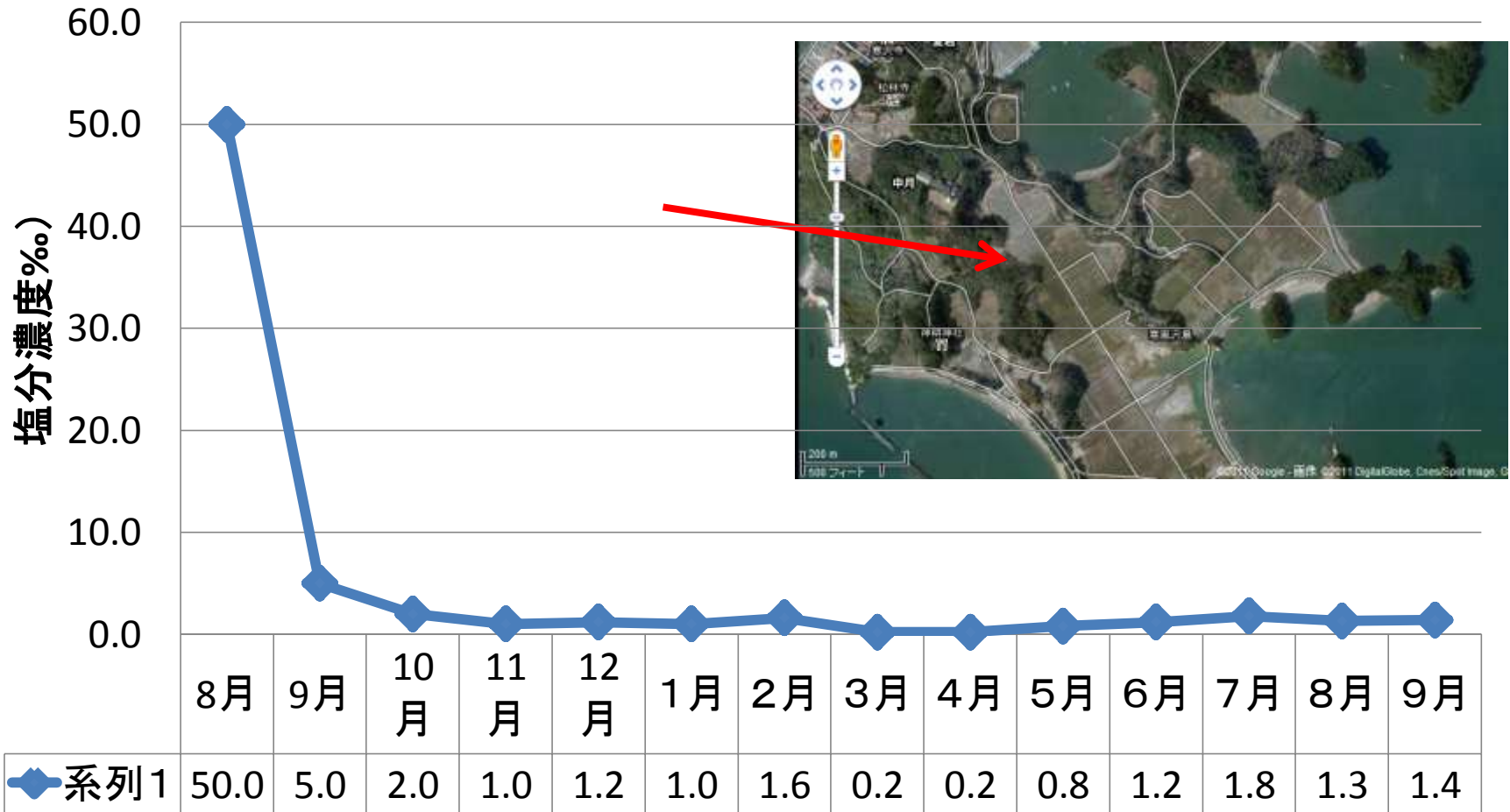
$X^2 = 77.53$

df = 1

$P < 0.0001$

寒風沢島の津波被害を受けた田んぼのふゆみずたばによる抑塩 津波により被災した田んぼの土壌の回復に関する調査(NPO法人田んぼ)

寒風沢島上桃和田作土層の塩分濃度の変化(単位psu)

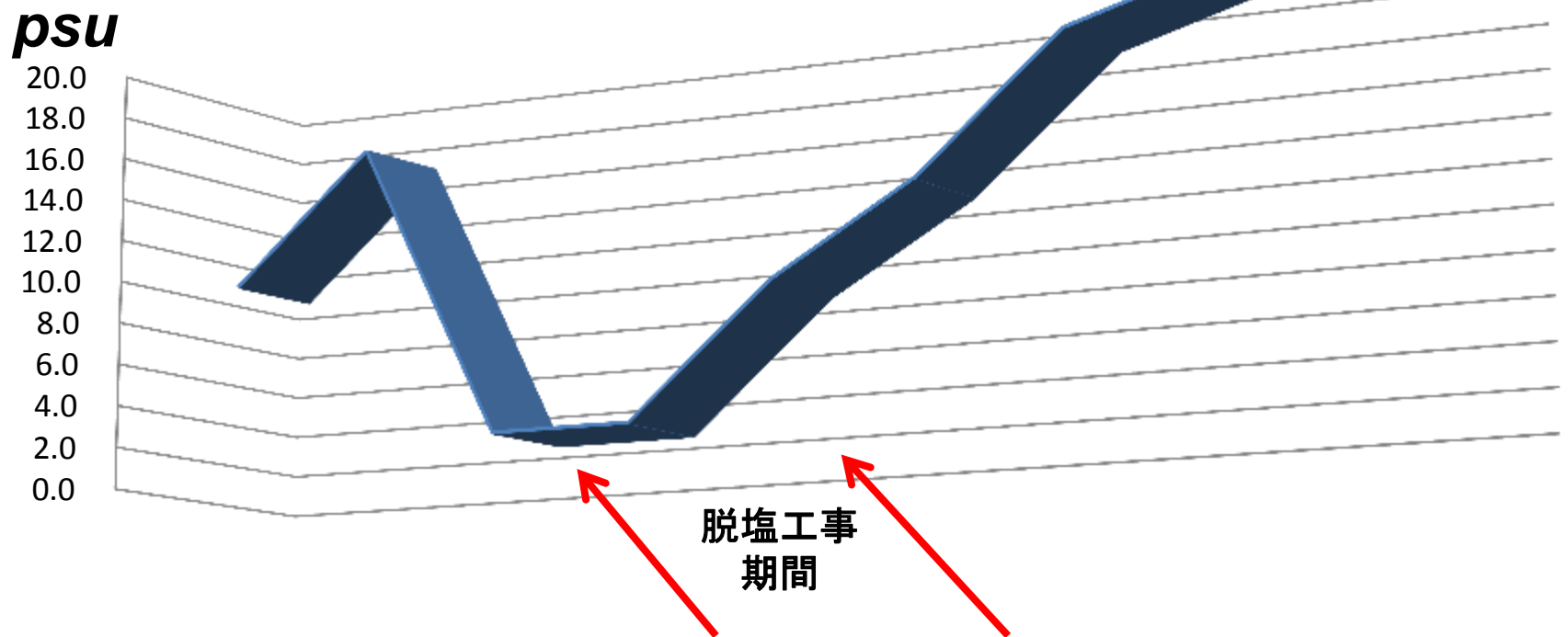


寒風沢島桃和田地区の脱塩工事と上流側に設置した人口溜池（2012年4月）



上桃和田脱塩工事事業前と事業後の塩分濃度の月別変化

津波により被災した田んぼの土壌の回復に関する調査(NPO法人田んぼ)



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
■ 上桃和田脱塩水田	10.0	16.0	2.0	2.0	8.0	12.0	18.0	20.0	19.0

圃場全体に塩害を起こした寒風沢島上桃和田の脱塩工事を行った水田

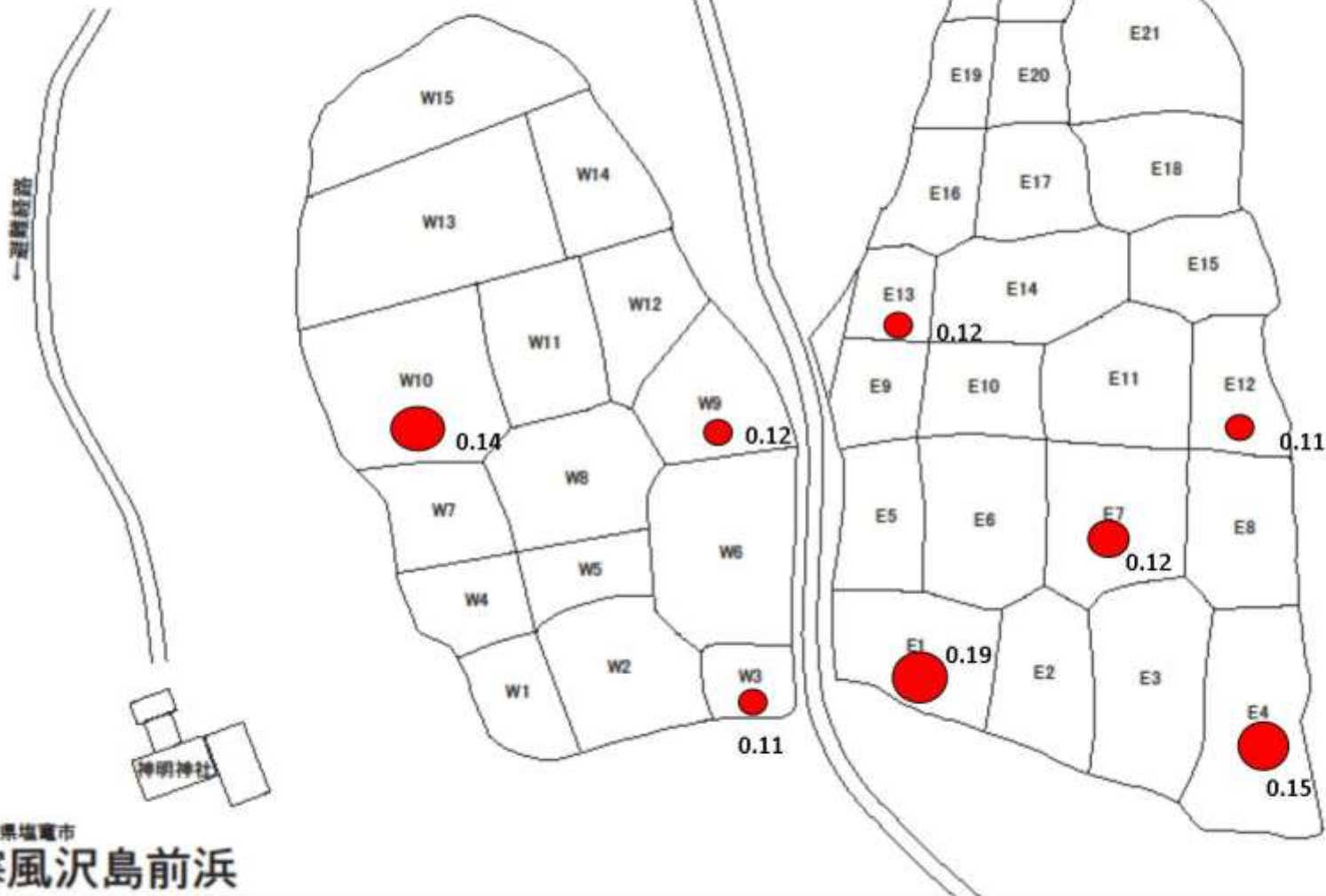


田んぼの土壌構造を壊さないように人間の力を使って復興するボランティアたち
作土層・鋤床層・硬盤層をできるだけ守ることが田んぼの復興にとって最も大切なこと



水道水注水前の前浜の水田土壌塩分濃度

2012年8月21日調査



宮城県塩竈市
寒風沢島前浜

ふゆみずたんぼで健全に育つ
寒風沢前浜の水田（2012年10月6日撮影）



消えてしまおうとしている縄づかいの技術の復活







C=B

Confidence equal Brand





「地球1個分の暮らし」をめぐすWWFの通販
PANDA SHOP

PANDASHOPだから
 できること

地球1個分の暮らし

お買い物で

HOME

ユーザー登録

初めてのガイド

送料について

→ ログイン → マイページ

商品番号・キーワードで探す

検索

カテゴリーから探す

→ HOME

・エコライフ

・雑貨

・パーソナルケア

・ペット・カリー

・キッズ・ベビー

・食品

・Sport・Outdoor

・コップ・バーン・コン・映画

・ギフト・おすすり

・健康・美容・お風呂

・環境・防災・お掃除

・動物・生け花・お菓子

・お祝い・お祝い



代金のうち200円が宮城県内の被災した田んぼの復興に使われます。今や「米の絶滅危惧種」と言われるまでに生産量が減少してしまった希少なササニシキ。冷めても味が落ちにくく、食事の味を引き立てるのが特徴です。

品番	品名	税込価格
190070 00	福幸米	¥1,050

●内容量：600g(4合) ●原材料：宮城県産ササニシキ100%

※「福幸米」は日本ラボテック株式会社にて依頼した放射性物質調査により、平成24年度産米の放射性セシウム、放射性ヨウ素、放射性カリウムは全て不検出となりました。
 ※新米の入荷は10月末のため、「幸福米」のお届けは11月中旬以降となります。他の商品と一緒にご注文の場合は、幸福米の入荷後、すべてまとめての発送となりますので、あらかじめご了承ください。

宮城県大崎市の「NPO 法人田んぼ」は、多くの水田が津波被害を被った3・11以降、宮城県内で自然と共生する稲作「ふゆみずたんぼ」による水田の復興を試みてきました。昨年は、収穫したお米を「福幸米」と名づけて販売し、その売上から約

42万円分が田んぼの復興・再生に充てられたとのこと。パンドショップでは、今年も引き続き福幸米の販売を通じて被災地支援を行っていきます。皆様からのあたたかいご支援をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

宮城県

復興への祈りを込めた「福幸米」に
 今年も多くのご支援を

地域応援商品
 のご紹介

がんばる日本を
 応援します!!

The community which enhance the activities of human and nature, fauna and flora.

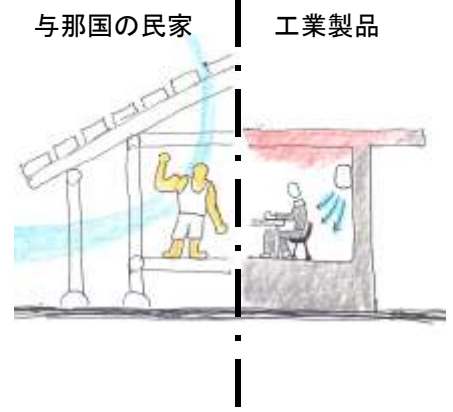
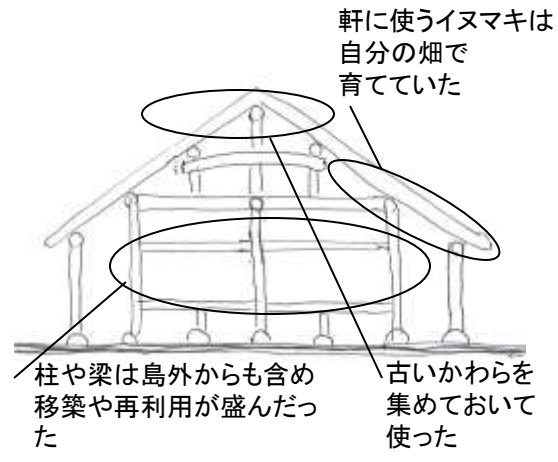
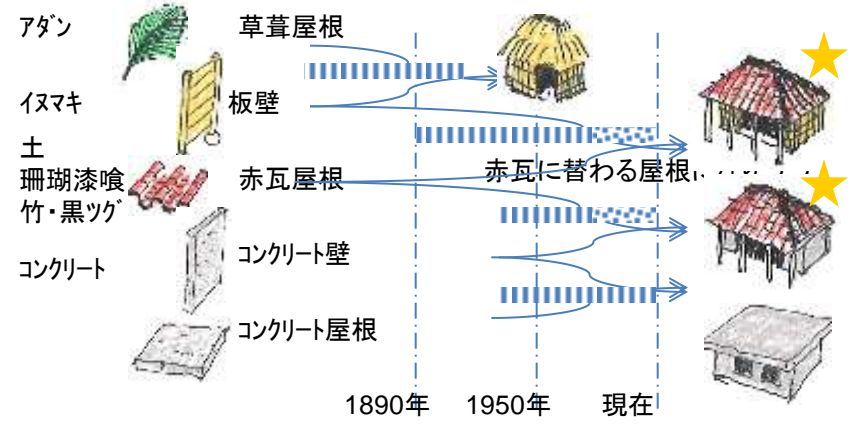


素材 近代に入ってからはやった民家
豊富な寒風沢素材もコンクリートも
対等に使ってきている
防風・耐震化等進化する民家

作り方 多い部材再利用・移築・再築
自分で・皆でつくるセルフビルド
作り方の継承が今なら可能

快適性

工業製品よりも快適なつくり
持続可能な快適性
冬寒い問題点



暮らし方



- 屋外暮らし・半屋外暮らし・開放的な暮らし
- 皆で子供を育てられる環境
- 朽ちてゆく暮らしから転換する知恵を育てなければならない
- 暮らしによって歴史文化をつなぐ
- 自然・人・生きもののいとなみを大切にしている

1. 民家は…… 「人のいとなみ + 自然のいとなみ + 生きもののいとなみを生かした、これからも進化する民家」 のようだ

地域にふさわしい独自の民家再生手法がありそうだ



音マップ

場所 トキの森公園

トキの声 ターターター

トランペットの音みたい

佐渡市加茂小学校5年製 G.K君の作品

国連(UN)・国際自然保護連合(IUCN)などと連携し、 国際的な会議でメッセージを発信



2015年10月

第3回国連防災世界会議

仙台市で誘致活動中！

2014年10月

第12回生物多様性条約締約国
会議(COP12)韓国

2014年11月

ESD最終年度会議 名古屋

2013年11月

アジア自然公園会議 in Sendai

2012年10月

第11回生物多様性条約締約国
会議(COP12)

会場で震災後の仙台海浜の映像を上映！